

百人一首 上の句と下の句を線で繋ぎましょう ⑧

わたの原
八十島かけて
漕ぎ出でぬと

天つ風
雲の通ひ路
吹き閉ぢよ

ひさかたの
光のどけき
春の日に

誰をかも
知る人にせむ
高砂の

今はただ
思ひ絶えなむ
とばかりを

難波江の
蘆のかりねの
ひとよゆゑ

松も昔の
友ならなくに

人には告げよ
海人の釣船

乙女の姿
しばしとごめむ

静心なく
花の散るらむ

身を尽くしてや
恋ひわたるべき

人づてならで
いふよしもがな